

新規事業採択時評価結果（平成17年度新規事業化箇所）

担当課：近畿地方整備局建政部都市整備課
担当課長名：新階 寛恭

事業名	としけいかくどうろ せんばがわせん ぱくろう 都市計画道路 船場川線(博 労工区)	事業区分	街路事業	事業主体	兵庫県
起終点	ひょうごけんひめじしたかおちょう 自：兵庫県姫路市高尾町 ひょうごけんひめじしばくろうちょう 至：兵庫県姫路市博労町	事業延長			0.6 km

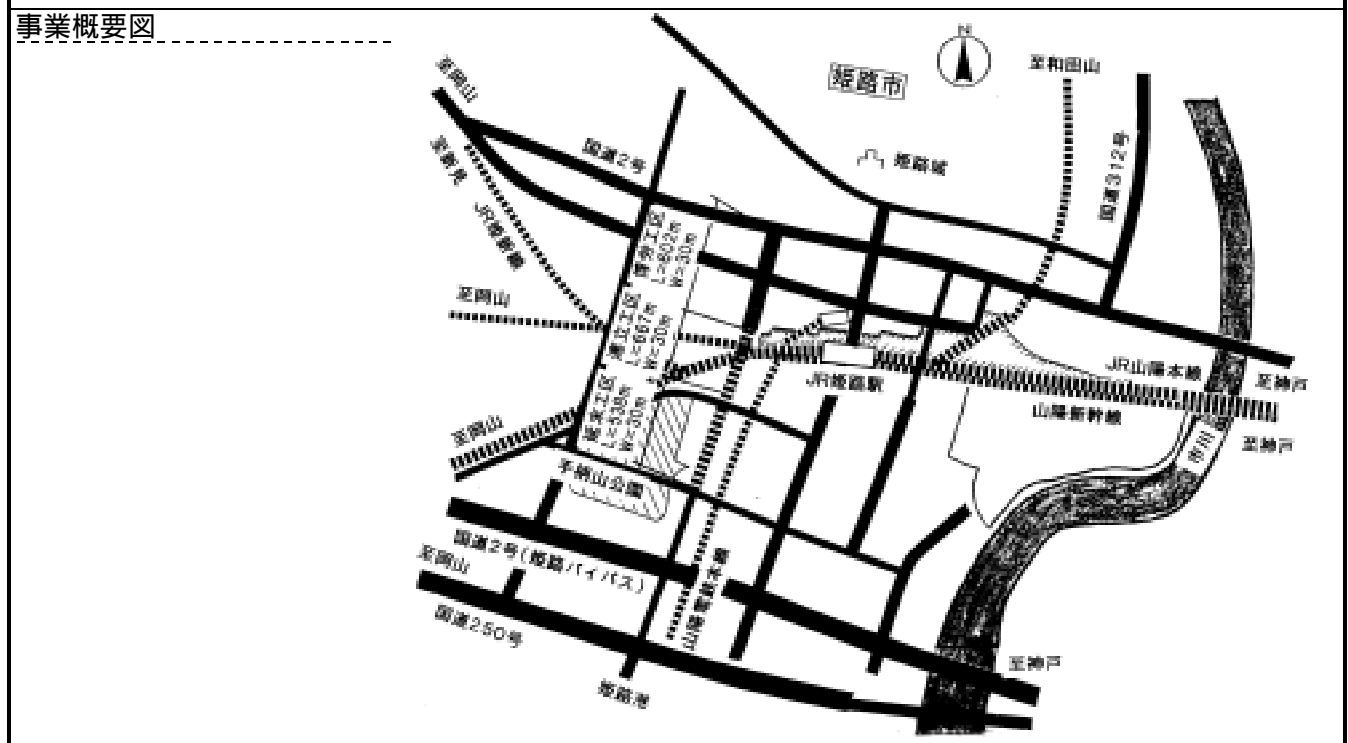
事業概要
本路線は国道2号から国道2号バイパス（姫路バイパス）、国道250号を経て特定重要港湾姫路港を結び姫路市における南北道路である。また姫路駅を中心とする内環状網の一部を構成しており、駅の南北を結ぶ主要幹線である。
本事業は、国道2号白鷺橋交差点以南における、4車線拡幅工事である。

事業の目的、必要性
JR山陽本線連続立体交差事業と併せて本路線を4車線化することにより、姫路市の中心市街地のアクセスの向上を図るとともに、慢性的に渋滞をしている姫路駅周辺の南北道路の交通環境の改善を図る。

全体事業費	83億円	計画交通量	31,900台/日
費用便益分析結果	B / C 2.1	総費用 68.2億円 （事業費：67.8億円 維持管理費：0.4億円）	総便益 140.7億円 （走行時間短縮便益：136.3億円 走行費用減少便益：3.4億円 交通事故減少便益：1.0億円）
			基準年 平成16年

事業の効果等
円滑なモビリティの確保（旅行速度の改善）
都市の再生物流効率化の支援（中心市街地の環状網の整備）
災害への備え（緊急輸送路として位置付けあり）
他のプロジェクトとの関係（連続立体交差事業と一体的整備）
その他6項目に該当

関係する地方公共団体等の意見
姫路市の街路整備プログラムに位置づけされており、早期事業着手が求められている。



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。